



自分でやりたい気持ちを大切に

日中はまだまだ暑い日が続いており、熱中症アラートが出て、園庭に出られない日もあるくらい、今年の夏の暑さは異常でした。テラスの下で遊んだり、園庭に出るのは30分と決めて遊んだり、子どもたちの外に出たい気持ちも受け止めながら、お天気や気温と相談しながら園庭に出て遊んでいます。今は運動会のかけっこやお遊戯、バルーンなどの取り組みも始まっています。体を動かすことの大好きな子どもたちは、いろんなことに「やりたい」気持ちでいっぱいです。

自分でやろうとする意欲は急に育つものではありません。0歳のはいはいを始めた子は、しっかり自分の意思があり、「あのおもちゃがほしい」「知らない世界を知りたい」という思いをはいはいの姿の中で感じとることができます。興味のある方向へ、自ら進もうとしている姿は、「何にもできない赤ちゃん」ではなく、「意思を持った一人の人」と感じることができます。興味のあるおもちゃを準備し、あえて手を貸さずに子どもの努力して頑張っている姿を見守ることは、意外と難しいことですが、程よい距離で温かく見守る(見て応援する)ことが、こども自身の「やりたい」という意欲につながるのです。

1歳頃になると自分の場所や自分の物が分かるようになり、毎日繰り返している生活の流れや物事の手順について、ある程度予想もできるようになるため、自分で動こうとします。この夏も、泡や氷、色水や泥んこでたくさん遊びました。子ども自身が出したり入れたり、取り出しやすい環境、いろんな道具を準備することで、興味をもってあそびに集中し、うまくいかない時にもあきらめず「どうしてかな」「こうやってみよう」「これがだめならこうやってみよう」など試行錯誤し、繰り返し挑戦しています。

1歳児クラスの保育者が、園庭のあそびの準備をしていると、子どもたちは「今日は何があるかな?」とわくわくして部屋の中から

見ているのだそうです。「今日はこのあそびをしよう!」と決めて外に出ている子もいるようです。ただ漫然と外に出るのではなく、わくわくする環境を準備することで、子どもたちのやりたい気持ちはますます高まっていると感じています。

2歳児さんは大人や大きい子がやっていることをとにかく見て真似て、自分でも同じようにできるんだという気持ちで様々なことに挑戦します。この乳児期の周りに興味をもって、色んなことをやりたがる時期こそが大切です。そのことが幼児になった時、様々なあそびに興味を持ち、体を動かすことが楽しくなり、いろんなことを調べたいという探求心や粘り強く様々なことを挑戦しようという力につながっていくのです。

乳児も幼児も身体を動かすことが大好きです。登ること、くぐること、走ること、飛ぶことなど、普段の生活の中でも色々やろうとします。子どもの様子を見ながら、これからもあそびの中に、それぞれの活動を取り入れたものを準備し、思う存分できるコーナーを作っていきます。

9月の終わりには運動会がありますが、日頃あそびの中で取り組んできたこと、憧れの競技、子ども同士で高め合った演技など、一人ひとり楽しみながら取り組み、保護者の方に見ていただくことも楽しみにして、頑張ってくれることと思います。日頃の取り組みの様子、当日の姿も「がんばったね」「じぶんでやれたね」「みてたよ」としっかり褒めてあげてくださいね。運動会を楽しみにしててください。

子どもたちの「やりたい」気持ちを乳児期から大切に、集中して遊んでいる時にはその姿を見守っていきたいと思います。子どもたちが自主的な行動のとれる子になるよう、これからも保育園でも応援していきます。

くまの・みらい保育園 園長



運動会のお知らせ

日時 9月28日(土)

10:00~12:30

場所 熊野町民体育館

今年の運動会は全園児で行います。暑さも続くようなので、今回も体育館の中での開催とします。子どもたちの頑張る姿を応援してあげてください。

お年寄りを大切に



敬老の日は国民の祝日(9月15日)に加えられた祝日です。現在では、9月の第3月曜日に設定されています。

「多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」だけでなく、すべての国民が高齢福祉について、関心と理解を深める日であるといえます。

園では、子どもたちに「おじいちゃん、おばあちゃんがいたから、お父さんお母さんが生まれ、自分たちがいるんだ」ということを伝えています。

お年寄りを尊敬する気持ちが育ってほしいと願っています。

秋の七草

「秋の七草」とは、はぎ、おばな、ききょう、なでしこ、くず、ふじばかま、おみなえしです。特別な行事はありませんが、草花を見ることを楽しむ機会にしてみましよう。

※保育園の萩のトンネルも、花が咲きすてきなトンネルができました。

異年齢の関わり

おみせやさんごっこ



すもうごっこ



お部屋を移動して、いつもと違う環境で遊ぶことは新鮮で、異年齢でかかわり合いながらあそびが盛り上がっています。

プールあそび

長いふわに乗って泳いでいるよ!

顔を付けて泳げるよ



年長さんはこの夏浮くもの沈むものを調べて、いろんなふねを作りました。お風呂でも顔付けの練習をして、顔を付けて泳ぐコツもつかんだようです。

食育活動



ぱんだ組さんで育てたメロン。お水やりをして大きくなりました。フルーツポンチに入れてみんなで食べました。



お当番さんでねぎの根っこが残っているのを見つけた子どもたち。みんなで植えて育てることにしました。